



利根川博士に聞く

「多自然型川づくり」ってなあに?

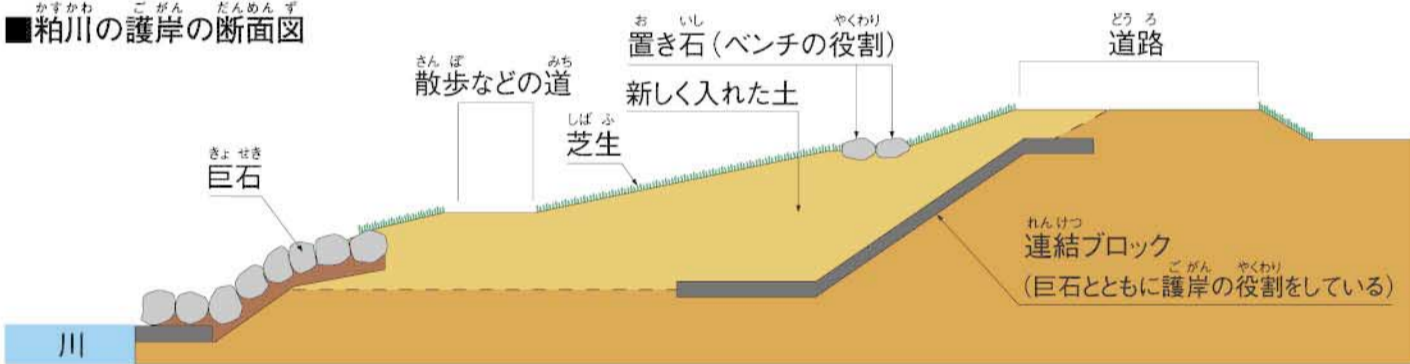
ポトム(以下「ポ」) いい天気だね。どこか、あそびに行こうよ、はかせ。
利根川博士(以下「博」) そうじゃな、かわらにでも行ってみようかの。
ポ えっ、またあ。はかせは、いつも川なんだから。

博 きょうはいつもどちがうところじゃ。ちよつとポトムに教えたいことがあつての。
ポ え、なあに?
博 行つてのお楽しみじゃ。
ポ ??



ひろびろのどかな粕川の様子。「多自然型川づくり」による護岸工事がおこなわれたのは平成9年。川の中に飛び石もつくられているよ

粕川の護岸の断面図



博 かわらがひろい芝生ひろばになつてるよ。それに、なだらかな。
ポ そうじゃな。なだらかに土を盛り、なるべく自然に近いかたち



生きものが集まる。水もきれいに

博 それで、むやみにコンクリートでかためないようにしたつてこと? ...ということは、この粕川のかわらも、自然のままというわけじゃなく、人が手を入れたものなの?
博 そのとおりなんじゃよ。
博 うん、岸が水の流れでけずられないようにコンクリートなんかでかためることじゃよ?
博 そうじゃな、たしかに護岸といえはコンクリートでかためることが多かった。しかし、それだと、魚や虫などの生きものがすみにくくなる。人も川に近づきにくいじゃよ。
博 それで、むやみにコンクリートでかためないようにしたつてこと? ...ということは、この粕川のかわらも、自然のままというわけじゃなく、人が手を入れたものなの?
博 そのとおりなんじゃよ。



コンクリートでかためない

博 えいっ、ここ? ツーのかわらじゃやない?
博 そのとおりじゃ。その「ツー」というところがミノなんじゃな。
ポ どういうこと? それに、ここ、どこ?
博 華蔵寺公園(伊勢崎市)の近くを流れておる粕川という川じゃ。このあたりのかわらは「多自然型川づくり」がしてあるんじゃ。
ポ たしぜんがた...? なあに、それ?
博 ふむ。ポトムは「護岸」というのを知つておるかの?
博 うん、岸が水の流れでけずられないようにコンクリートなんかでかためることじゃよ?

博 多自然型川づくりって、ほかにどんなのがあつての?
博 そうじゃな。たとえば、かわらに生いしげつて

土・草・木・石を上手に使う

博 多自然型川づくりって、ほかにどんなのがあつての?
博 そうじゃな。たとえば、かわらに生いしげつて

博 どうなるの?
博 生きものたちのいとなみで、川の水がきれいになつてくるんじゃ。そうすると、また生きものがふえてくる。川の水がきれいだと、人もあそびに来る。というわけで、多自然型川づくりには「浄化(水をきれいにすること)」という効果もあるんじゃ。
博 どうなるの?
博 生きものたちのいとなみで、川の水がきれいになつてくるんじゃ。そうすると、また生きものがふえてくる。川の水がきれいだと、人もあそびに来る。というわけで、多自然型川づくりには「浄化(水をきれいにすること)」という効果もあるんじゃ。
博 どうなるの?
博 生きものたちのいとなみで、川の水がきれいになつてくるんじゃ。そうすると、また生きものがふえてくる。川の水がきれいだと、人もあそびに来る。というわけで、多自然型川づくりには「浄化(水をきれいにすること)」という効果もあるんじゃ。



大きな石をいくつも組んであるね。しっかり護岸の役割をしているんだ

